

Ad-Sol アドソル・ベトナムレポート

Vietnam Report

vol.1

グローバル・デリバリー体制のご紹介



経済発展が続くベトナム

ハノイ・ダナン・ホーチミンの3拠点で展開する多拠点・同時・分散開発

ベトナムは、2022年のGDP成長率が8.0%となるなど、アジア新興国の中でも高い経済成長で知られます。人口約9,800万人、平均年齢は約33歳（日本は約48歳）と、若く豊富な労働力がベトナムの経済成長を支えています。

アドソル日進グループは、高品質な ICT システムの提供に向け、成長著しいベトナム（ハノイ・ダナン・ホーチミン）におけるオフショア開発の強化に取り組んでいます。

2010年代前半から日本国内の大学を卒業したベトナム人留

学生の積極採用、現地での開発をマネジメントする「ブリッジSE」の育成、帰国後の起業支援・提携など、複合的な戦略展開を推進し、ベトナムを軸としたオフショアサービス展開の基盤整備を進めてきました。

2023年5月に策定した新・中期経営計画「New Canvas 2026」では、ベトナムでの対応力強化と人材育成を軸とした「アジア・オフショア戦略」を掲げ、ベトナム政府から「IT特区」に指定されたダナンを中心に、その取組みを強化しています。

ベトナムにおけるオフショア開発のあゆみ



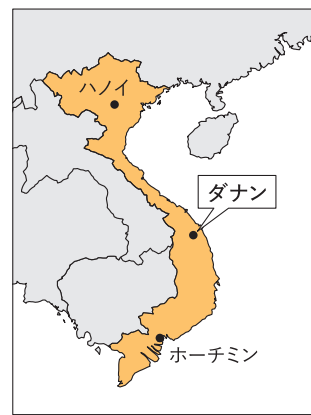
「リゾート」「IT特区」2つの顔を持つダナン



ダナンは人口100万人を誇るベトナム中部最大の都市です。世界遺産ミーソン遺跡や古都フエ、幻想的なランタンで有名なホイアンなどに近く、世界中から多くの観光客が訪れる観光地、ビーチリゾートとしても知られています。

一方、古くから国際貿易港として栄えてきた歴史があり、近年ではベトナム政府から「IT特区」に指定されたIT集積地という2つの側面を持ちます。

グローバル企業も続々と進出しており、今後のビジネス動向に注目が集まっています。



テックゼン

当社OBが設立！注目のスタートアップ企業「Techzen」と資本・業務提携

アドソル日進は2018年、ハノイ、ホーチミンに続く第3の拠点として「ダナン開発センター」を設立。パートナー企業のUNITECH(ユニテック)、UNISOFT(ユニソフト)とともにオフショア開発体制の強化に取り組んできました。2023年7月には、当社OBが「外国籍社員向け起業支援制度」を活用しダナンで設立したスタートアップ企業「Techzen(テックゼン)」と資本・業務提携を締結しました。

新たにアドソル日進グループの一員となったテックゼン、アドソル日進100%子会社のアドソル・アジア、そして長年パートナーとして協業するユニテック、ユニソフトを中心に、ダナン開発センターのさらなる強化が進んでいます。



資本・業務提携セレモニー(2023年9月)

安心・安全なオフショア開発環境！ ダナン開発センター

アドソル日進の「ダナン開発センター」は、ダナン市内のビジネス街に位置し、テックゼン、ユニテック、ユニソフトが入居するダナンソフトウェアパークビルにあります。

特に中心的な役割を担うテックゼンのオフィスは最新のファシリティを備えており、日本のお客様が必要とされるセキュリティレベルを満たした安心・安全なオフショア開発環境を構築しています。



ダナンソフトウェアパークビル



日本の開発拠点と常時接続し、拠点間シームレス開発環境・体制を構築



AI認証によるセキュリティ



AIカメラで勤怠管理



アドソル日進専用プロジェクトルームを設置



ユニテック／ユニソフトとの密な連携も可能

リン社長に聞く！

テックゼンがよくわかる3つのキーワード

Origin — 由来 —

「Tech」は技術、「zen」は日本の「禅」、Techzenはこの2つの言葉を合わせた造語です。禅=日本の「心」=「日本文化・企業の魅力や強み」だと捉えると、「誠実さ」「おもてなし」「続けていく力」になると理解しています。テックゼンの社風・文化にも、この「心」の部分を根付かせたいと考え、社名としました。

テックゼン代表取締役社長 レ・ユイ・リン氏 (LÊ DUỠY LINH)

プロフィール

2007年ベトナム・フエ国立大学卒業。2009年来日し、2013年山梨大学大学院修了、同年アドソル日進に入社。アジャイル開発やオフショア開発などを担当後、2020年6月、ダナン開発センター現地責任者に着任。2022年1月「Techzen(テックゼン)」を設立



Challenge — 挑戦 —

ベトナムは若い力にあふれた国です。中でもテックゼンは創業したばかりですから、毎日が挑戦の連続です。基本的には自ら製品・サービスを構築し、社内でも使用します。「自分たちが使いたいサービスをつくり世に送り出す」、これがテックゼンの目指す姿です。

Strength — 強み —

テックゼンは「アジャイル開発」を得意としています。システム開発だけでなく、会社組織や運用もアジャイル型、オープンかつ俊敏であることが強みです。日本の禅の心と、ベトナムの何事にも挑戦して前に進んでいく若い力が融合した企業だと言えます。



テックゼンの社員は現在43名(2023年12月)。2024年末には200名まで拡大する計画だ

ダナン大学との産学連携協定



産学連携協定締結セレモニー(2023年9月)

アドソル日進は、「高度 IT 人材の育成」をキーワードに、ベトナム・日本双方のさらなる発展に貢献することを目的として、ベトナム有数の国立総合大学である「ダナン大学 (University of Da Nang)」と、産学連携協定 (MOU) 及び共同研究に関する協定 (MOA) を締結しました。

ダナン大学の概要

ダナン大学は、6加盟大学から構成され、学生約50,000人、教職員約2,500人を誇るベトナム中部地区最大規模の国立総合大学です。工学、経済、教育、情報通信など幅広い領域で優秀な人材を輩出しています。

産学連携協定の内容

今回締結した産学連携協定では、アドソル日進の「ダナン開発センター」とダナン大学SDC (Software Development Center) が中心となり「スマート大学の実現」をテーマに「メタバース (インターネット上に構築された三次元の仮想空間)」とアドソル日進グループが提供する教育ソリューション「StudyArts (スタディアーツ)」の融合に関する共同研究を行うほか、グローバルレベルで活躍するための様々なプログラムなど、高度IT人材の育成につながる取組みを進める予定です。



ダナン大学SDCの受付カウンターにはアドソル日進とテックゼンのロゴも表示されている

高度 IT 人材の育成につながる取組みと成果

- ダナン大学学生のグローバル雇用につながる学術的/教育的意識の促進
- インターンシッププログラムの実施
- シンポジウム、ワークショップ、会議等の開催
- 日本の働き方に慣れるための様々な分野コース編成の支援

共同研究・トレーニングセンター (仮称) 2024年春オープン!

2024年春、ダナン大学SDC内に「共同研究・トレーニングセンター」をオープンします。今後、同センターを中心に共同研究やインターンシップ、ワークショップなどが実施される予定です。



共同研究・トレーニングセンターには「ベトナムにしながら日本での就業体験ができる」ことをコンセプトに、日本企業と同等のファシリティが取り入れられる。テックゼンのプロジェクトルームも設置される予定だ

アドソル日進

東京本社 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川
関西支社 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-4 アクア堂島東館6階
九州支社 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル
名古屋オフィス 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 3-23-20 HF桜通ビルディング
仙台開発センタ 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-2-25 仙台NSビル
米国子会社 サンゼR&Dセンタ 855 Embedded Way, San Jose, CA 95138-1018 USA

【発行】
アドソル日進株式会社
<https://www.adniss.jp/>

【取材協力】
アドソル・アジア株式会社
Techzen Co.,Ltd
<https://techzen.vn/ja/>